

開催概要

平成27年10月に策定した「五泉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の推進にあたり、各事業の評価・検証を行うことを目的として開催しました。

意見交換では、総合戦略に登載した事業のうち、平成27年に実施した「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）」の対象となる5事業について評価・検証を行いました。

日時	平成28年7月15日（金）午後2時～4時
会場	五泉市役所4F 401会議室
参加委員	15名（産学官金労言の各分野計19名構成）
内容	1. 開会 2. あいさつ 3. 説明 （1）総合戦略の取組状況について （2）効果検証作業について 4 意見交換 「市民検討委員会における効果検証について」 5. 閉会

実施状況



市民検討委員会の様子

意見交換「市民検討委員会における効果検証について」

事業名	意見・質問
1. 子育て支援応援事業	Q. ごせん子育て応援にこここサポート（こここパス）について、利用者はどのくらいいるのか？ A. 店舗が好意でサービスしているものなので、利用者数は把握していない。
	Q. こここパスの経費の内容は？ A. 冊子やステッカー、のぼり旗を作成するなど、制度を構築するための経費。
	Q. こここパスの認知度が低いように感じる。もっと活用してもらいたいが、周知に関して何か対応や対策は？ A. 市ホームページに掲載するとともに、こここパスを送付する際に冊子を同封している。今後、利用について一層周知を図っていきたい。
	Q. 満足率68%の背景は何か？ A. サービス内容の拡大・充実を望んでいる利用者が多いいるため、このような結果になったものと考えている。
2. 空き家対策事業（空き家台帳整備事業）	Q. 目標値の設定からみて、事業として遅れているのか？ A. 現時点で、まだ空き家を利活用するための空き家バンク等の制度は立ち上げていない。また、空き家の中には危険空き家のようなものもあり、すべて空き家バンクに登録され、利活用できるとは限らない。目標値の20%は、登録された空き家のうち、概ね2割程度が利活用できることを想定して設定したものである。
3. 園芸作物推進実証事業	●園芸作物を推進する上で、非常に大切な事業。単年度で終了であるが、このような事業は今後も継続して欲しい。
	●検証結果を報告する機会を設けて欲しい。
4. 五泉ニット製品開発事業	●世界のトップ企業と仮調印したことは、非常に素晴らしく、誇らしいことである。このことを、小中学生にも知らせて欲しい。五泉ニットの素晴らしさを小中学生にもPRできる施策があれば、人口減少問題や人材育成の推進につながると思う。
5. 観光振興事業	Q. 観光大使を任命しているが、活動が目に見えていない感じがするが？ A. 市内のイベントに来てもらうというよりも、それぞれが活躍するフィールドで五泉のPRをしてもらうことに期待している。
	Q. 商品化した後、評価するために新たなKPIを追加することはあるのか？ A. 桜アロマ事業については、最終的なKPIについてまだ見えてこないところもあるが、桜アロマの事業所の創業、それに伴う新たな雇用の創出を目指していきたい。
全体	Q. KPIが設定されていない事業について、今後、KPIを新たに追加していくことはあるのか？ A. 戦略を見直して新たにKPIを設定するということではなく、基本目標の数値目標により評価していくことになる。